

クリティーだより



令和4年5月25日
栗生小学校
学校運営協議会

みんなで支え合って
全力を出し切ろう！

運動会！



天候にも恵まれ、5月21日(土)、運動会を開催しました。今年のテーマは「みんなで支え合って全力を出し切ろう！」全児童が、自分の力を出し切り、友達を信じて、演技や競技に臨みました。

保護者の皆さんには、いろいろ制限がある中、ご協力いただきありがとうございました。また、これまでの応援・当日のご参加、本当にありがとうございました。

感染予防の観点から、地域のみなさんに、ご覧いただくことはできなかったのですが、それぞれの学年が、それぞれに力を発揮することができました。子どもたちのがんばっている姿を、写真でご覧ください。

1・2年生 団体競技：コロコロころがせくりっこチャレンジ 表現：くりっこパワーでとどけよう『サチアレ』



3・4年生 団体競技：旋風を巻き起こせ！ 表現：栗っ子ソーラン節



5・6年生 表現：心を一つにーレッツ ダンスー



親子競技 5年生：我が家のきずながNo.1 6年生：バトンをつなげーリベンジマッチー



とても楽しみにしていた運動会がありました。私は、表現で行った集団行動と「群青」が心に残っています。集団行動では、横をそろえて動くことに気を付けました。最後の回るところは、会場から拍手がおきてとてもうれしかったです。会場からは、「おー」という声も聞こえてきました。かっこよく見えているのかなと思ってきました。今まで本気で練習をやってきましたよかったです。母にも、集団行動がとてもかっこよかったとほめてもらいました。

続けて「群青」のダンスです。しゃがむ所やジャンプするところを意識して踊りました。「もう限界。これ以上は出し切れない」というくらい力を出し切れたと思います。ウエーブをするときに、私の耳に大きな拍手が聞こえました。堂々とした姿やみんなの心を一つにしたそろった演技を見せることができたのだと思いました。

本当にがんばった運動会でした。みんなたくさん練習して、その成果が出し切れて、うれしかったです。来年は、6年生。私たちのがんばっている姿を地域の人にも見せることができると思います。

(5年生 児童)

私たちにとって、小学校生活最後の運動会。最高学年として仕事がたくさんあり、開会式での宣誓もその一つだ。全校の前で大きな声で発言するのは久しぶりだった。緊張したけれど、大きな声で宣誓することができた。

私は準備係で、グラウンドに水線を引いたり、使うものを準備したりする。リハーサルでは、ミスがあつて、迷惑をかけてしまった。本番前に、何度も同じ当番の人と物を置く位置や水線を引く場所を間違えないように確認した。本番では、ミスなく助け合いながら準備をすることができた。プログラムが順調に進んで、ほっとした。

いよいよ高学年の時間がきた。徒競走の後は親子リレーだ。昨年度は、父が手加減してくれたことで、子どもチームが勝つことができた。今年は、そうはいかない。6年生もバトンパスの練習を重ねていた。いよいよスタート。前半は、子どもチームが勝っていたので、保護者も手加減することはなかった。アンカーにバトンが渡った。アンカーは一周。最後に抜かれてしまい負けてしまった。差が大きかったわけでもないのに、仕方ない結果だ。負けてしまったけれど、みんなが全力でやり切ったことに違いはない。本当に楽しめた。

最後は表現。練習では、細かい動きが多くて、心の中で「めんどくさい」と思うこともあった。しかし、細かいところをきちんと揃えられるよう練習していたからこそ、本番で自信をもって踊ることができた。練習した成果が出せたダンスになったと思う。

最後の運動会は、本当に楽しかった。

(6年生 児童)